

### 鉄道建設と海老津駅③

#### —海老津駅の変遷—

岡垣歴史文化研究会 石田 健次

海老津停車場(駅)は明治43(1910)年2月6日に開業し、令和2年2月には110周年を迎える。今回は、海老津駅の変遷を見ていくこととする。

#### 【初期の取扱貨物】

大正時代の海老津駅での取扱貨物は、海老津炭鉱に関するものが主であった。「海老津駅要覧」によると、大正15(1926)年の到着貨物は、炭鉱に関するものや農村向けの肥料、石油類、塩などがあつた。発送貨物では、炭鉱に関するものや米、繭、木材、石炭、清酒、果物類などが岡垣村内一円から荷馬車で集荷され、発送されていた。

#### 【主な出来事】

●大正5(1916)年11月

天皇陛下の御召列車の海老津駅通過に伴い、村民は駅に日の丸の小旗を持って出向いた。また、大正時代



▲跨線橋があった頃の海老津駅構内

から第二次世界大戦末期にかけて、出征軍人の見送りが駅で行われた。

●昭和31(1956)年

跨線橋が新設され、線路を横切るといふ危険が解消された。

●昭和34(1959)年

上り線専用のトンネル工事を開始した。これは電化にあたって、明治時代に造られた城山トンネルに、

2本の架空線を設置できないという問題が生じたためである。工事は2年後の昭和36(1961)年に完成し、これにより同年6月に門司港・久留米間が電化開通した。

●昭和36(1961)年

岡垣内の全ての炭鉱が閉山となり、海老津駅構内における石炭の積込業務の取り扱いが終了した。

●昭和37(1962)年10月

町制施行により岡垣町が誕生した。この頃から、岡垣町は北九州市と福岡市のベッドタウンとして発展し、海老津駅の利用者が増加した。

●昭和47(1972)年3月

初めて快速電車が停車した。

●昭和58(1983)年

駅前広場の整備事業が開始された。

●昭和61(1986)年

駅舎の改築により仮駅舎での駅業務が開始された。

●昭和62(1987)年4月

国鉄は民営化され、九州旅客鉄道株式会社(JR九州)が発足した。

●昭和63(1988)年12月

新駅舎がオープンし、駅前広場と駅前道路の供用が開始された。

●平成10(1998)年1月

海老津駅開業88周年を祝って鏡



▲海老津駅仮駅舎

開きが行われた。

●平成22(2010)年2月

海老津駅開業100周年を記念し、記念式典が行われた。

●平成28(2016)年12月

海老津駅自由通路が開通したほか、駅南側広場が整備された。自由通路の開通に伴い、金毘羅踏切が廃止された。

開業当日の海老津駅の乗車人員は数人であったが、平成30(2018)年度の乗車人員は一日平均3815人に達している。海老津駅は岡垣町の玄関口である。これからも発展を続け、町民からますます愛される駅となるであろう。